

「津波防災の日シンポジウム」について

1. 津波防災大使の任命

- ◆ 羽生結弦選手を津波防災大使に任命。「津波防災の日」制定の報告や津波防災に関する普及啓発を行う。

2. シンポジウム実施概要

目 的	11月5日の「津波防災の日」制定の報告。 津波災害による人的被害は、住民一人ひとりの迅速な避難行動により大幅に軽減することが可能。 国民の津波防災に対する意識や津波避難に係る自助の対策の定着を図るため、シンポジウムを開催。
対 象	防災に関する取組みをされている方や津波防災実務担当者の方等を対象。
日時・会場	11月5日(水)13:00～18:30 於 ウェスティンホテル仙台 グランドボールルーム (宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1)
プログラム	◆第1部 主催挨拶、基調講演など 13:00～14:00(予定) ◆防災担当政務ご挨拶 ◆「津波防災大使」(羽生結弦選手)からのビデオメッセージ ◆室崎益輝氏(兵庫県立大防災教育センター長)による基調講演「津波避難のあり方について」 途中休憩10分程度含む ◆第2部 津波防災における取組の紹介 14:15～16:30(予定) ◆鍵屋 一氏(法政大学大学院非常勤講師)司会・進行によるパネルディスカッション ◆取組事例紹介①:宮城県気仙沼市における取り組み(前気仙沼市総務部危機管理監兼危機管理課長 佐藤健一氏) ◆取組事例紹介②:岩手県における学校防災の取り組み(岩手県教育委員会事務局学校教育室指導主事 森本晋也氏) ◆取組事例紹介③:静岡県湖西市の取り組み(湖西市危機管理監 藤田和久氏) ◆取組事例紹介④:高知県黒潮町の取り組み(黒潮町情報防災課南海地震対策係長 川田和徳氏) ◆『特別講演』 :今村文彦氏(東北大学災害科学国際研究所長)による特別講演『カケアガレ!日本』の紹介 途中休憩15分程度含む ◆第3部 津波防災行動定着へ向けた防災の「担い手」ワークショップ 16:45～18:30(予定) ◆鍵屋 一氏(法政大学大学院非常勤講師)による防災の「担い手」による連携を目的としたワークショップ
参加方法	◆参加費:無料 ◆定 員:パート1・パート2(500名)、パート3(ワークショップ)120名 (いずれも事前申込み制)

当日シンポジウムや講演で使用した資料は下記アドレスにてダウンロードすることが可能です。(予定)

(URL:<http://www.bousai.go.jp/jishin/tsunami/tsunamibousai/tsunamibousaiday.html>)

「津波防災の日シンポジウム」について

◆第3部 津波防災行動定着へ向けた防災の「担い手」ワークショップ 詳細説明

◆鍵屋 一氏(法政大学大学院非常勤講師)による防災の「担い手」による連携を目的としたワークショップ

目 的

「津波防災の日シンポジウム」参加者で、属性や地域を超えた防災に関するネットワークの構築

対 象

防災に関する取組みをされている方や津波防災実務担当者および全国の方を対象。

日時・会場

11月5日(水)1645:~18:30(予定) 於 ウェスティンホテル仙台 グランドボールルーム
(宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1)

内 容

- 1 第3部の参加者は受付において、会場の後方の指定された丸テーブル席で第1部・2部の聴講をお願いします。
第3部(ワークショップ)を円滑に進めるための対応ですのでご協力をお願いいたします。
第1部、第2部のみの参加者は前方のスクール形式の会場で聴講頂きます。
- 2 同じテーブルのメンバーは第3部まで(ワークショップ)一緒に参加する仲間ですので、適宜自己紹介等をお願いします。
- 3 ワークショップは16:45開始予定です。
コミュニケーションを取りやすい雰囲気作りの後、司会者の進行により付与されるテーマについて自由にリラックスした雰囲気での意見交換・知恵を出し合います。
- 4 各グループで出された意見や知恵については、発表や展示などにより参加者間で共有します。
ワークショップは18:30までの予定ですが、意見交換が盛り上がると時間が短いと感じる方も多かもしれません。
活発な交流を期待しています。